Student Conference on Light 2019 についての報告書

大阪大学　吉田智也、薮内俊平、西田健太郎

2019 年 11 月 3 日～11 月 5 日の三日間にわたって、大阪大学中之島センターで開催した Student Conference on Light 2019 (SCOL2109)についての報告をいたします。SCOL2019 は学生のみの国際学会であり、ポスター発表と口頭発表を通じて普段の学会では質問しづらいことでも気軽に質問できるような場を作り、学生間で活発に議論できることを目的として開催いたしました。また全日程で招待講演も行い、今後の自身のキャリアについて考えるいい機会になったと思います。SCOL2019 には東京大、電通大、宇都宮大、関西学院大、同志社大、徳島大、九州大、OIST そして大阪大から参加者が集い、51 人が参加しました。SCOL2019 は大阪大学学生チャプターの代表メンバーで組織された委員会により企画、運営を行いました。
以下に各日程の詳細について報告いたします。

11 月 3 日(1 日目)の報告

1 日目は受付を行なった後、バンケット会場に移動し、初めて会った参加者同士の交流を目的にバンケットを開催しました。最初に SCOL2019 開会の言葉を行い、その後バンケットを楽しみました。バンケット途中にアイスブレイクとして、クイズを行ないました。各グループでクイズの答えを話し合い、自然と仲が深まっていった様子でした。バンケットを通して、参加者同士の初対面による緊張などもなくなり、翌日以降のポスター発表、口頭発表で活発に議論できるようになったと思います。以下にバンケット時の写真を載せます(図１)。

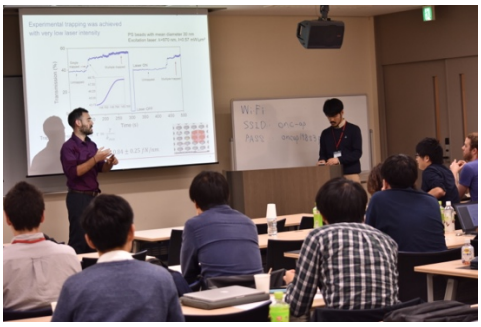
(図１) バンケット時の写真

11 月 4 日(2 日目)の報告

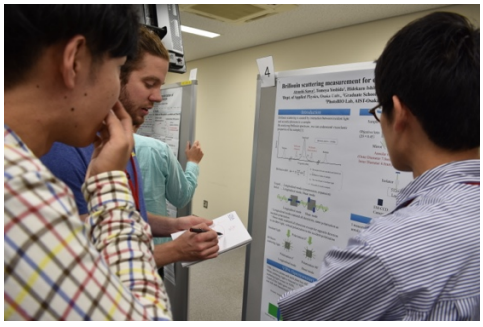
2 日目は朝 9 時の Dr. Isinsu Baylam 氏と河田聡氏による招待講演から開始しました。(図 2)自身のこれまでの研究生活やキャリアをもとに、まだまだ若い私たちに研究者の道をこれからどのように歩んでいって欲しいかを講演してくださりました。ある人は質疑応答の時に今の悩みを相談し、的確なアドバイスをもらい今後のキャリアが見えてきたと言っていました。参加者全員にとって今後のこれから歩んでいくキャリアに対して大変参考になったと思います。お昼休憩に参加者全員の集合写真を撮りました。(図 3)その後は口頭発表を行いました。(図 4)発表時間を 15 分にし、自身の研究のバックグラウンドを丁寧に説明してもらう事で聞き手側が発表内容を理解しやすいようにし、質疑応答で活発な議論ができるようにしました。その結果、質疑応答の時間だけではなく、発表が終わった後の休憩時間にも議論をしている姿を多く見かけました。2 日目の最後はポスター発表を行いました。(図 5)
時間が許す限り、各図で活発な議論をしていて、実際に参加者の一人は今後の研究の方針の参考に非常になったと言っていて、それぞれにとって有意義なものになったと思います。

(図 2) Dr. Isinsu Baylam 氏と河田聡氏による招待講演

(図 3) 2 日目の集合写真



(図 4) 口頭発表の写真



(図 5) ポスター発表の写真

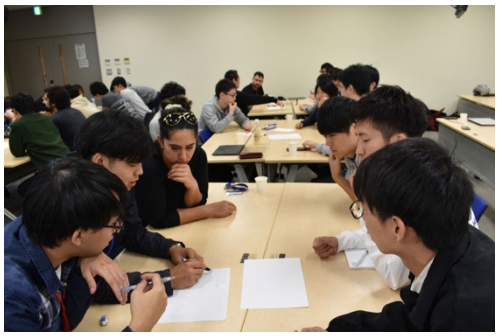
11 月 5 日(3 日目)の報告

3 日目は朝 9 時の桶谷亮介氏による招待講演から開始しました。(図 6)桶谷亮介氏は 2017 年 3 月に博士課程を修了したので、昔の話ではない学生生活について講演してくださりました。これから修士課程を修了し、博士課程に進む学生や現在博士課程である学生にとってとても身近に感じた話であったと思います。その後はグループワークを行いました。グループワークでは、光に関する論文が年間に何本発行されているかを推定する問題に取り組みました。(図 7)それぞれのグループが異なるアプローチで議論しながら推定し、論理的に導かれた解答を最後に各グループの代表者に解答を導いた過程も含めて発表してもらいました。解答を導く過程には各グループで異なるアプローチを行なっていて、非常に興味深く参加者も最後の発表を聞いていました。お昼休みに集合写真を撮った後(図 8)、残りの口頭発表を行いました。(図 9)3 日目の口頭発表も活発な議論を行い非常に有意義なものになりました。

株式会社堀場製作所様には、お昼休み中にランチョンセミナーを開催していただきました。企業説明だけでなく、業務内容な光学に関連した事業に関してセミナーをご提供いただきました。質疑応答の際には、学生の様々な質問に対して丁寧なご回答をいただき、企業で働くことに関しての理解が深まりました。

最後に閉会の言葉と口頭発表とポスター発表から各一人ずつ最優秀賞を投票で決めて表彰を行い(図 10)、SCOL2019 を無事に終えることができました。

(図 6) 桶谷亮介氏による招待講演



(図 7) グループワークの様子

(図 8) 3 日目の集合写真

(図 9) 口頭発表の写真

(図 10) 最優秀賞の表彰者の写真

SCOL2019 は応用物理学会の補助を受けて開催しました。具体的には、ポスターパネル代、懇親会諸経費の補助をいただきました。ここに厚く御礼を申し上げたいと思います。株式会社堀場製作所様には、3 日目の昼食弁当代をご支援と、ランチョンセミナーの開催をいただきました。心からお礼を申し上げます。JSPS Core-to-Core program には参加者の交通費やホテル代の援助、SPIE・OSA には昼食代や懇親会諸経費の補助、招待講師のホテル代、その他様々な企画等での援助をいただきました。招待講師の Dr. Isinsu Baylam 氏、河田聡氏、桶谷亮介氏には休日の中来場いただき、講演していただきました。

最後に SCOL2019 に参加していただいた全ての参加者にこの場を借りて、厚く御礼を申し上げたいと思います。